

泉房穂前明石市長の危険思想とざっくり計算の間違い

泉房穂氏前明石市長は国民は収入の50%を納税していると言うが計算がおかしい。そんなに納税額が多かったら、まずは国会議員だって重税感に苦しんで税制改正に取り組むはず。

所得税の最高税率は年所得4,000万円以上に対する45%が最高率。このゾーンに入る方は、他の税金と合算すると50%を軽く超える納税していることになり、高額納税者がアカの他人である住民税非課税世帯を養ってあげているか、すでに海外に移住しているはず。中間層にとって住宅ローンが家計を圧迫するため、重税感を感じるのだと思うが、本当に税負担が重いのは高額所得者層だけ。なので、消費税すら納めたがらない悪い層がいる。こういう輩を教育しなくてはならないのに、泉房穂氏は真逆のことをしている。

そもそも国に財政なんてものは存在しません。

税金の集合体が歳入のため、福祉の世話になっている人は国から貰っているのではなく、アカの他人のお財布から集めた税金で養ってもらっているのです。その自覚がなく、感謝するどころか妬む輩が多い。

泉房穂氏の思想の根底に、幼少の頃、親族の知的障害者が強制避妊されたことに対する怨念があつて、区別と差別の区別がつかなくなっている。

差別があつてはならないが「区別」が必要。

知的障害者がひとり産まれたら、介護にどれだけの人と予算が必要かを考えてほしい！泉房穂氏はれいわの応援をしたりして、とんでもない動きを始めた。案の状、三橋貴明氏とも気が合っている。この流れを止めないと日本は無収入で福祉の世話になる世帯ばかりが増えていく。

知的障害者が悪いのではなく、知的障害者を産まないように努力しないのが悪い。

例えば、一人目が知的障害だったら二人目も同じかも知れないと危惧して、産まない選択が必要。第一子、第二子が知的障害なのに三人目を産むなんて、血税をアテにして産みまくる『出産病』だと思う。

福祉費の大半を「老人」と「非課税世帯」が食い潰している。今さらキレイゴトを言っただけはいけない。キレイゴトを言う輩は、負担が極端に少ないか、福祉の世話になっているのを隠している層のいずれか。特に地方議員の中には、地域住民へ良い顔をしながら、自分の身銭を削りたくないワルがいて、私を毛嫌いしている。

危険思想の泉房穂氏に対抗するには、IQの高い高額納税者世帯が日本国内で3~4人くらい産んで日本に定住したくなるような法整備が必要。泉房穂氏は、まずは「パレートの法則」を知って欲しい。一方、緊急避妊薬が11月下旬から販売されるのも岸田内閣の良心の証。こういう薬こそ、国が補助して誰でも安価で買えるようにするとか貧困世帯へ無料配布すれば良いと思う。そのための増税ならば、すぐに元が取れます。動物の去勢避妊の普及につれて遺棄と処分が激減したのを見れば、緊急避妊薬の普及で税金の無駄遣いが防げるのも予想がつきます。

福島市矢剣町11-3 星野節子024-563-7650
Ameba検索で、「動物の繁殖は虐待」で検索を
<https://ameblo.jp/animal-police>
繁殖ゼロで処分ゼロ遺棄ゼロ 産ませる人は殺す人